AWARDS FUKUOKA2017 エントリーシート

事業名称	流イキッズ交流会		
申請LOM名	公益社団法人ひびき青年会議所		
事業年度LOM会員数	4 2名		
事業年度理事長	長山 洋子		
2017年度理事長	原 和彦		
事務局住所	中間市中間1丁目6-5		
事務局TEL/FAX	TEL: 093-246-2396 FAX: 093-246-0960		
担当者	氏名:柳 昌男		
	電話番号:090-4986-9366		
	E — Mail: masaoyanagi28@yahoo.co.jp		

	T	T		T	
事業参加者	JC会員数	実施	26名	計画	42 名
(実施合計 名)	協力団体・企業				
	などの関係者数	実施	8名	計画	8名
	一般参加者数	実施	25名	計画	25名
事業実施に至る背景	ひびき青年会議所の流	舌動エリアであ	る1市4	4町には命	iの源でもあ
	る遠賀川というシンス	ドルが存在しま	゙す。した	かしながら	、遠賀川の
	現状はゴミ問題や水質	質問題など多く	の問題で	を抱えてい	ます。この
	遠賀川の課題を将来の	D担い手である	地域の	子どもたち	は知る機会
	が少ないのではないが	かと考えます。			
事業目的	将来の担い手である	子どもたちに、	交流を図	図りながら	遠賀川に興
対外	味を持ってもらい、⁴	今の遠賀川の上	流から	下流までの	現状を知っ
	てもらう事で、命の》	原である遠賀川	の大切る	きを学び、	ふるさとを
	大切に想う心を育むる	ことを目的とし	ます。		
事業目的	遠賀川の重要性をLの	OMメンバー再	認識して	てもらう事	と共に遠賀
対内	川流域の各種団体と3	交流の輪を広け	る事を目	目的としま	す。
事業内容	遠賀川上流域より川の見	上学、学習、体験を	を行うこと	こによって遠	遠賀川の歴史、
400文字程度	文化、環境問題等を学び	ぶ城住民であ	る子ども	たちに必要	性を認識して
	もらうと同時に、未来へ	~継承していくに	はどうし	たらいいの	かを考えても
	らう内容となっています	一。初日は遠賀川	の概要を	説明したの	ち、源流点を
	見学し、付近の山森を見学。源流の水の綺麗さ、山林が果たす役目を学習				
	しました。二日目は下流にて河口堰の役割とごみ漂着問題の学習を行った				
	のち、水質浄化体験と生物調査を行い、人の手が入ることにより汚れてい				
	くことを学び、またきれ	いにする方法、	どんな生	き物が住ん	でいるかを学
	びました。				
事業の概要	開催の形式	(主催)・	共催 •	主管 •	副主管

(○を付けてください)	事業対象者	メンバー・市民・大学生・その他学生・その他				
	事業区分	新規事業 · 継続事業				
	公益・共益区分	(公益)・共益				
事業予算・決算	予算額	¥500,000				
	決算額	¥495,567				
開催日時	H28年 8月 27日7:30~ 8月28日 17:					
開催場所	遠賀川上流域~下流域全体					
協力団体	共催					
	協賛					
	後援福	岡県広域地域振興課				
		源流の森づくり推進会議 NPO法人遠賀川流域住民の会				
		遠賀川河川事務所河口堰管理支所 北九州市上下水道局水質試験所 国交省遠賀川河川環境保全モニター 新水巻病院				
	その他	小台州 阮				
	-C 07 [IE					
事業実施へ工夫した点と	本事業では、事情	前に全プログラムを講師とともにシミュレーショ				
その効果400文字程度	ンを行い、実施会	会場、実施時間に問題がないか、また場所と時間				
	に問題がないかの精査を行いました。担当委員会メンバーが体験					
	することで、安全確保、内容に自信をもって開催することが					
	ました。また子と	ました。また子どもたちを、1 班(5 名)に班分けし、リーダーを				
	置くことで、補足	説明や疑問点に対しての対応がスムーズに行え、				
	子どもたちの理解力を上げることができました。上流域から					
	域まで幅広く子。	どもの募集を行ったことで、普段会うことのない				
	友だちもできるこ	ことで一生の財産になったと思います。				
地域社会への影響	私たちの活動エリス	アのシンボルでもある遠賀川に対して、未来を担う子ど				
400文字程度	もたちが、しっかり	りと学んだことで遠賀川の継承活動に対して前向きにと				
	らえ、守っていこうという心を育むことができました。また各種団体の後					
	援をいただき参画し	していただいたことで遠賀川を守るという思いを持った				
	方々を繋ぐことがつ	できたと思います。またメディアも取り上げてくれたこ				

	とで多くの方々に発信することができたので大変意義があったと確信して
	います。
LOMへの影響	本事業に参加したメンバーは遠賀川の諸問題や現状を再認識できたことや
400文字程度	子どもたちと触れ合ったことでより地域活性に対する想いや青少年育成に
	対する想いを深めることができました。
事業PRポイント	本事業は地域の他団体からも共感をいただき、今年度より他団体が受け継
ご自由に記載して下さい	いでくれることになりました。JC の市民意識変革団体としての役割を果
	たすことができたのではないかと考えます。

事業風景写真も4~5枚程度あわせてお送り下さい。

エントリーアドレス:fukuoka. awards@gmail. com